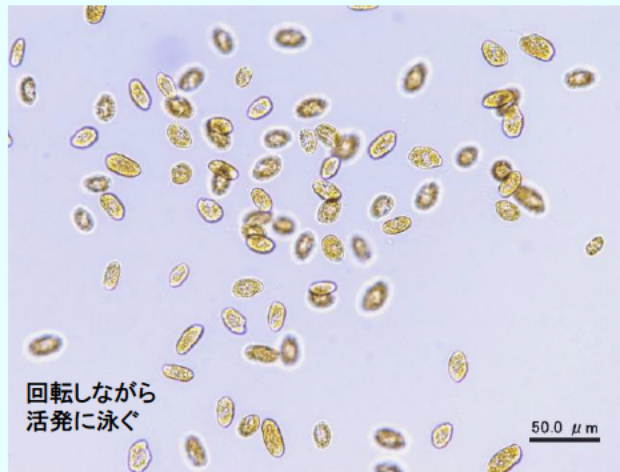


ヘテロシグマ アカシオ(ラフィド藻)

(*Heterosigma akashiwo*)

動画



英虞湾で発生した赤潮(海水が黄褐色に変色)



楕円形の細胞



扁平な細胞

泳ぎが遅い

動画

類似種1

フィロカプサ ジャポニカ

- ◆ やや大きい(20~30μm)
- ◆ 細胞は楕円形
- ◆ 色素が濃い(茶色っぽい)
- ◆ 非常にゆっくりと泳ぐ

茶色

大きい

動画

類似種2

シャットネラ マリーナ

- ◆ かなり大きい(30~50μm)
- ◆ 細胞の下端がやや尖る
- ◆ 葉緑体が顆粒状
- ◆ ゆっくりと泳ぐ

尖る

大きさ: 長さ10~25μm、幅8~15μm

形態: 色は薄い黄褐色。細胞はほぼ楕円形だが、扁平な場合も多く、細胞の形は変化が大きい。輪郭がいびつで、ジャガイモのような形をしている。ほぼ同じ長さの鞭毛が2本あり、前方と後方に伸びるが、後方の鞭毛は観察しづらい。葉緑体は円盤状で、細胞の周辺部に10~30個存在するが、一個ずつを確認するのは難しい。

動き: 回転しながら活発に泳ぐ。

分類: オリストディスクス ルテウス (*Olisthodiscus luteus*) と混同されていたことがあるが別種である。

漁業への影響: 数万細胞/mlを超えると魚介類のへい死を引き起こす危険性がある。魚類の他、甲殻類(エビなど)、軟体動物(タコ、イカなど)などにもへい死事例がある。ムラサキイガイが本種を活発に食べたことが報告されていることから、二枚貝に対しては無害と考えられる。

漁業被害: 毎年のように赤潮が発生しているが、赤潮発生件数の割には漁業被害件数はあまり多くない。

発生海域: 伊勢湾~熊野灘沿岸

発生時期: 4~11月頃(春季~秋季)